

令和4年度事業報告

事業概要

シルバー人材センターの公益目的事業の実現のため、シルバー事業の根幹である会員増強と、就業機会の確保・提供並びに、安全・適正就業の徹底を最重要課題に掲げ令和4年度事業を行いました。

前年度同様、今年度においても令和2年の初めから世界を震撼させている新型コロナウイルス感染症の長期化により、事業活動は制限を余儀なくされました。しかしながら、会員、役職員の努力により会員数では前年度対比11人の増、受託事業及び労働者派遣事業を含めた全受託事業契約においても前年度対比7.8%増の82,395,000円の事業実績となりました。

事業実績報告

事業計画に基づき、以下の事業を実施しました。

(1) 会員の確保、増強

センターの根幹である会員数の増強を目標に、会員の勧誘、会員による紹介、会員役職員による口コミ運動等を実施し、また退会者の抑制にも努めた結果、前年度を上回ることができました。

・年度末会員数 197人（男性132人、女性65人）

前年度対比11人の増員（内訳：男性2人増、女性9人増）

(2) 就業機会の確保と提供

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの受託事業及び派遣事業実績は以下のとおりです。

		(前年度実績)
1. 会 員 数	197人	(186人)
2. 受託事業件数	2,063件	(2,027件)
派遣事業件数	108件	(104件)
3. 受託就業延人員	14,991人	(14,590人)
派遣受託延人員	1,835人	(1,553人)
4. 受託契約金額	67,955,519円	(64,697,949円)
派遣契約金額	14,439,481円	(11,721,422円)

事業実施報告

1. 就業機会提供事業

(1) 就業機会の提供

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な仕事を一般家庭、民間企業、官公庁等から請負により引き受け、会員に対し就業機会の提供に努めました。受託事業実績の受注件数では、前年度比 36 件の増、就業延人員でも 401 人の増になりました。また、契約金額でも前年度対比 105%、325 万円の増額になりました。この要因は公共からの清掃業務を新規受注できたことによるものです。

その他では、会員数の減少による後継者不足により減額している職種も見受けられるが、シルバー理念「自主・自立・共働・共助」に対する会員の理解と頑張りにより前年度比増額という実績になりました。

(2) 労働者派遣事業

高齢者活躍人材確保育成事業のトライアル奨励事業を活用し、新たに会員獲得と就業機会を得るなど、前年度対比 23.1%の増と大きく飛躍する実績となりました。しかしながら、コロナ禍の影響もあり新規発注者の開拓には結びつきませんでした。

2. 就業機会確保事業

(1) 安全・適正対策推進事業

事故撲滅、事故件数 0 件を目標に掲げ安全就業に努めました。

重点項目では、何より健康第一を掲げているため、健康維持及び健康診断受診の推進、安全講習会の開催、安全委員による安全巡回指導の徹底、刈払機用カルマー及びバリカン式草刈機使用の推進、飛散防止のための防護ネット利用の推進、剪定などでの脚立の使用に関する注意喚起、熱中症対策及び蜂刺され防止の呼掛けと、注意喚起などを推し進めました。しかし残念なことに令和 4 年度においても事故が発生しました。

- ・ 傷害事故 : 3 件
- ・ 賠償事故 : 0 件

(2) 普及啓発事業

長引く新型コロナウイルス感染症の影響のため、各種行事の中止や規模縮小とされ、地域に密着した普及啓発活動を実施出来ませんでした。会員募集のためのチラシについては、「シルバーの日」を利用し、市民へ手渡しによるチラシ配りや付近世帯へのポスティングを行いシルバー人材センター事業の理解と普及啓発に努めました。

最重要課題である会員拡大については、口コミによる「一会員一人獲得運動」を継続展開させました。それに併せて、今年度も新会員を紹介した場合、会費割引制度を適用しました。その結果7名の新規会員の入会がありました。

また、入会説明会は、希望者が訪れた際その都度行い、新規会員の入会促進に取り組みました。しかし、既存会員の高齢化もあり病気を理由に退会する方も増えているのが現状です。

(3) 就業開拓提供事業

高齢者にふさわしい就業機会を提供するため、会員の希望、知識、経験等を就業希望調査で把握し、個々の希望に沿うように検討しながらグループ就業やローテーション就業を推進させました。また、コロナ禍のなか、受注拡大のため会員、役職員が出来る範囲で就業開拓運動を実施しました。

3. 就業機会提供のための独自事業

高齢者世帯や一人暮らし世帯など、日常生活で困っている物事に対し、会員が迅速に駆けつけ、対応あるいは判断することでシルバー人材センターの価値を高める活動を展開させました。また、通院の際、人手不足により家族やヘルパーなどの付き添える人がいない高齢者世帯の依頼者に対し、専門知識を持った会員が親身に寄り添う就業を重ね、発注者に不安を与えない就業を展開させました。